

コースカリキュラム・ポリシー

対応する
学部CP

- 1) 社会科学の幅広い基礎知識を修得させるために、法学、社会学、経済学に関する科目を「基礎科目」として開講する。
- 2) 地域社会や国際社会の抱える課題の発見とその解決に向けた科学的・論理的思考力を育成するために、法学を体系的に修得させ、法的思考能力を涵養するのに必要な基本七法を中心とする科目、および、政治・行政に関する科目を「活用科目」として開講する。
- 3) 法学および政治学の知識と思考力を活用し、地域社会や国際社会における現実的課題を適切に解決するための実践的判断力の育成に資する科目を「活用科目」として開講する。
- 4) 地域社会や国際社会の諸課題の解決に不可欠な、自らの考えをまとめて他者にわかりやすく説明するための表現力を涵養する「演習」を「実践科目」として開講する。
- 5) 多様な考えや視点を踏まえつつ、法学的・政治学的思考を用いた課題解決のためのファシリテーション能力を育成する「実践演習」、「キャリア形成演習」、「キャリア体験実習」を「実践科目」として開講する。

①

②

③

④

⑤

コースディプロマ・ポリシー

対応する
学部DP

- 1) **【汎用力】** 法学および政治学に関する基礎的知識と理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を修得して、総合的な観察力を身につけている。
- 2) **【思考力】** 法学および政治学の知識を活用し、地域社会や国際社会における現実的課題を解決するための論理的・科学的思考力を身につけている。
- 3) **【判断力】** 法学および政治学の知識と思考力をを用いて、地域社会や国際社会における現実的課題を適切に解決するための実践的判断力を身につけている。
- 4) **【表現力】** 法学および政治学の知識を活用した論理的な思考に基づき、地域社会や国際社会の諸課題の解決のために、自らの考えをまとめ、これを他者にわかりやすく説明できる表現力を身につけている。
- 5) **【総合的実践力】** 南九州を中心とする地域社会やアジアを中心とする国際社会の諸状況を踏まえ、社会現象の中から解決すべき課題を発見し、多様な考えや視点を踏まえつつ、法学的・政治学的思考を用いた課題解決のための適切なファシリテーション能力を備え、地域社会の発展に貢献する「進取の精神」を身につけている。

①

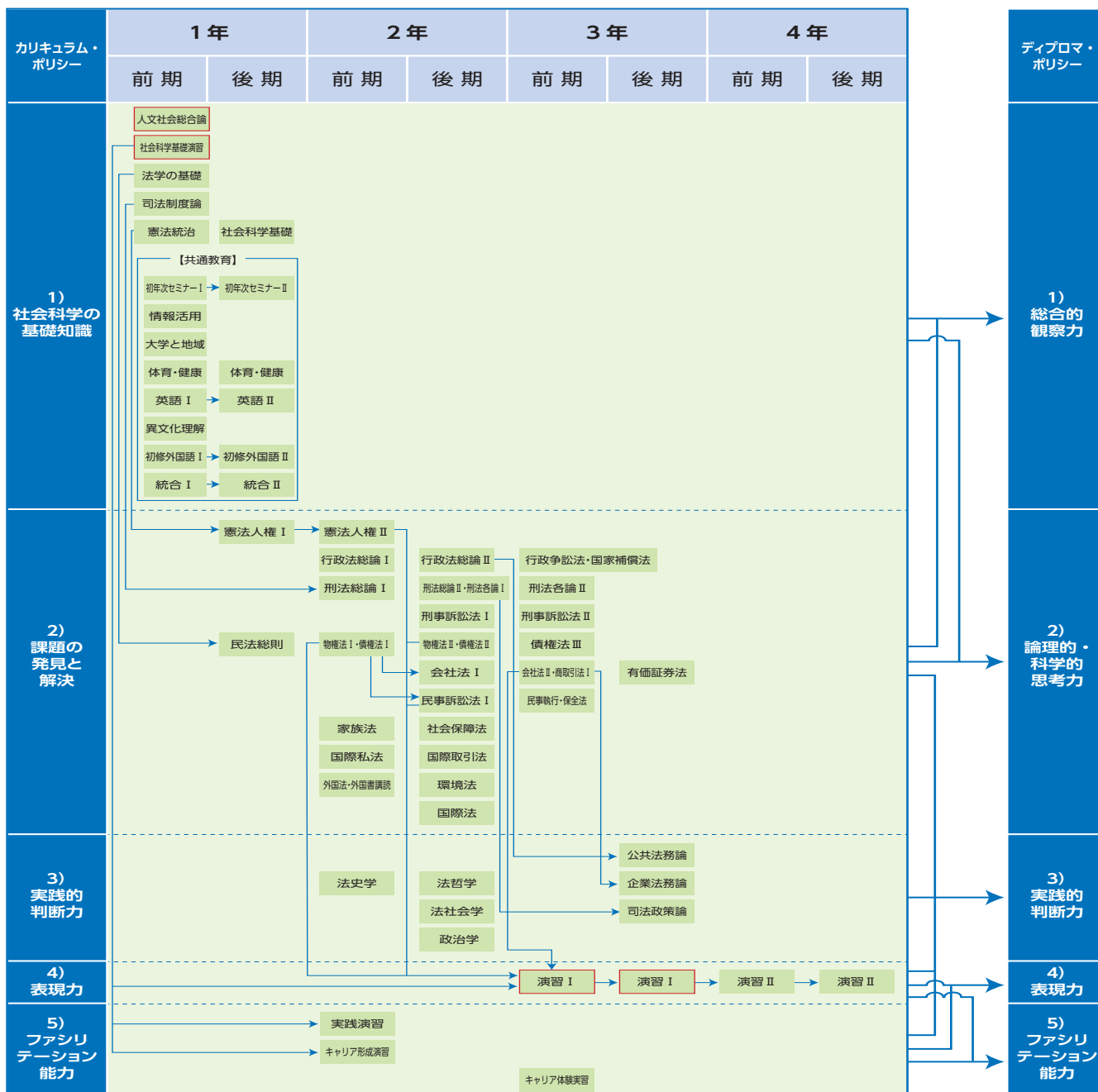
②

③

④

⑤

カリキュラム・マップ



コースカリキュラム・ポリシー

対応する
学部CP

- 1) 「基礎領域および活用領域」科目を学び基本的な知識と思考力を身につける
- 2) 「活用領域」科目を学び現象を理解する能力や問題解決のための基礎的思考力を養成する
- 3) 「実践領域」科目を学び専門知識を活用して課題を分析し知見を伝える能力を身につける
- 4) 特殊研究を履修し現代社会や地域が直面する問題解決のための総合的実践力を涵養する

①

②

③

④

コースディプロマ・ポリシー

対応する
学部DP

- 1) 【汎用力】社会科学に共通の知識と観察力を備え分野を横断した幅広い知識を修得している
- 2) 【思考力】経済学・経営学・会計学の知識を活用して論理的かつ科学的思考力を身につけている
- 3) 【判断力】地域経済や国際経済の諸課題を適切に解決するための実践的判断力を身につけている
- 4) 【表現力】論理的思考に基づいた自らの考えをまとめ他者にわかりやすく説明できる表現力を身につけている
- 5) 【総合的実践力】ファシリテート能力を備え地域経済に積極的に貢献する「進取の精神」を身につけている

①

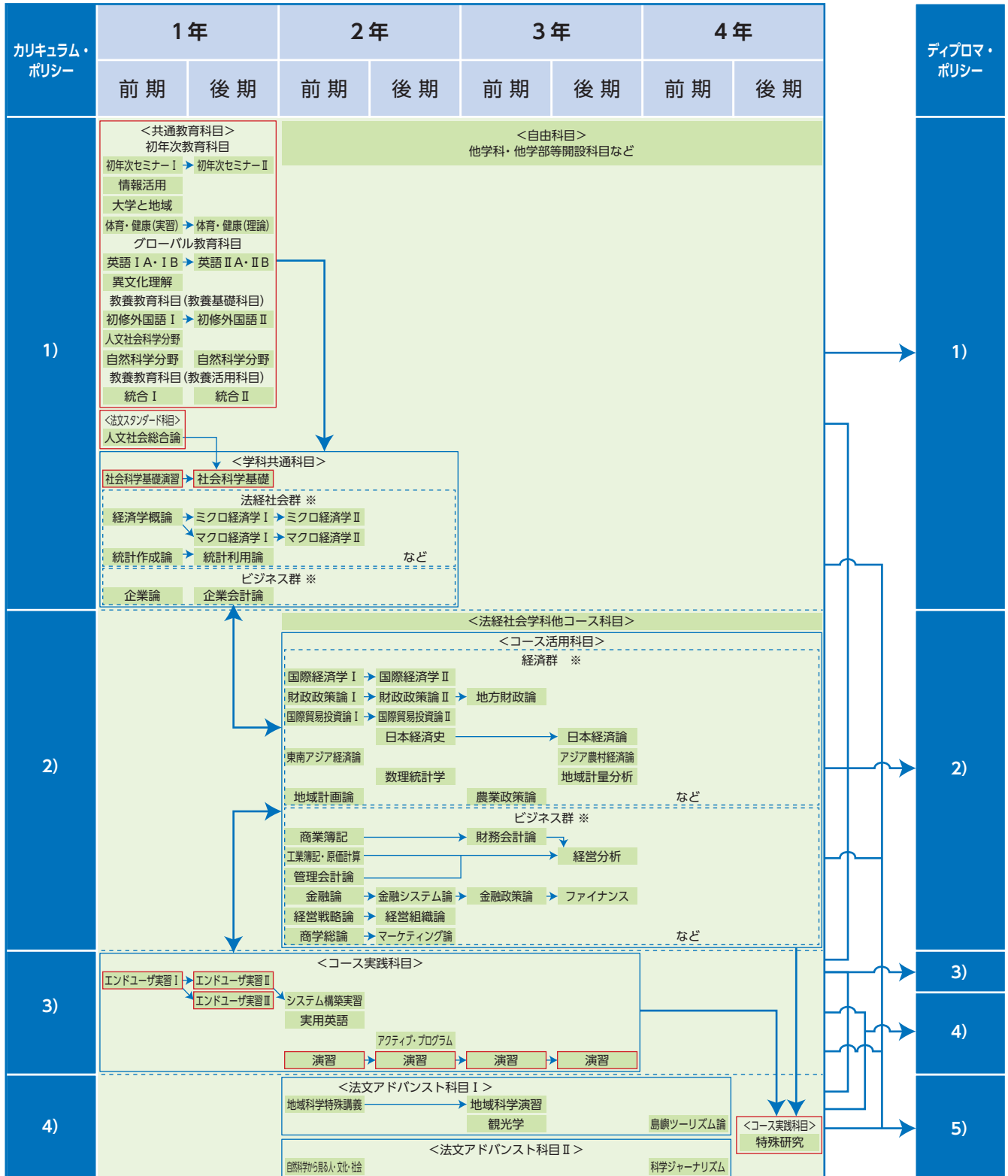
②

③

④

⑤

カリキュラム・マップ



※ 科目の配当年次を示している。配当年次以降の期であれば、修業年限にわたり履修可能である。

コースカリキュラム・ポリシー

対応する
学部CP

- 2年次からは、地域社会のマネジメントの観点から「基礎領域および活用領域」の経済学、経営学、社会学及び社会教育学における基本的な専門科目を学び、基本的な知識と思考力を身につける。
- 3年次からは、社会学、社会教育学を中心に地域社会における協働形成に関する応用的な「活用領域」の専門科目を学び、地域社会の現状理解や問題解決のための協働形成に必要な基礎的思考力を養成する。これに加えて、経済学、経営学、政策学、法学などの科目を学ぶことにより、地域社会の諸問題の解決に必要な多面的な知識と思考力を身につける。
- 2年次～3年次では、少人数教育の「実践領域」の科目を履修させる。演習では、基礎的な専門知識を定着させ、さらに高度な専門知識を学ぶと共に、自ら課題を発見して論理的に分析する思考力と、それを正確に表現する能力を身につける。また、地域社会実習などの実習科目では、地域社会の具体的事例に触れることで協働形成における判断力および実践力を身につける。
- 4年次では、これらの学習のまとめとして特殊研究においてレポートを作成させることによって、現代の地域社会が直面する諸課題に対して、地域社会のマネジメントの観点から社会学、社会教育学を中心とした社会科学に関する基礎知識を基にした論理的思考力や表現力、問題解決のための総合的実践力を涵養する。

①

②

③

④

コースディプロマ・ポリシー

対応する
学部DP

- 【汎用力】** 地域社会の現状と動態を把握し、問題解決を目指すために経済学、経営学、社会学、社会教育学および法学の基礎的知識を修得し、さらに理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を修得している。
- 【思考力】** 地域社会の抱える諸課題を組織マネジメントに基づく地域コミュニティ活性化の観点から把握するために社会学、経営学、社会教育学などの手法に基づく論理的かつ科学的な思考力を身につけている。
- 【判断力】** 住民による組織マネジメントに基づく地域コミュニティ活性化の観点から、社会学、経営学、社会教育学などの手法を踏まえて地域社会の諸課題を分析し、企業や行政とともに解決に導くことができる判断力を身につけている。
- 【表現力】** 社会学、社会教育学の知識と実践を経営学、経済政策、行政学などの視点に適切に結びつけることにより、組織マネジメントに基づく地域コミュニティ活性化の観点から協働形成を目指すために、地域社会の抱える諸課題とその解決に関する自らの考えを他者にわかりやすく説明できる表現力を身につけている。
- 【総合的実践力】** 地域コミュニティのマネジメントの観点から地域社会が抱える諸課題の解決を目指し、社会学、社会教育学の知識と手法を用いた住民参画による協働形成に向けたファシリテーション能力を備え、それをもとに非営利組織、住民団体、企業、行政など多様な分野において地域社会の活性化を目指し、南九州を中心とする地域社会に積極的に貢献する「進取の精神」を身につけている。

①

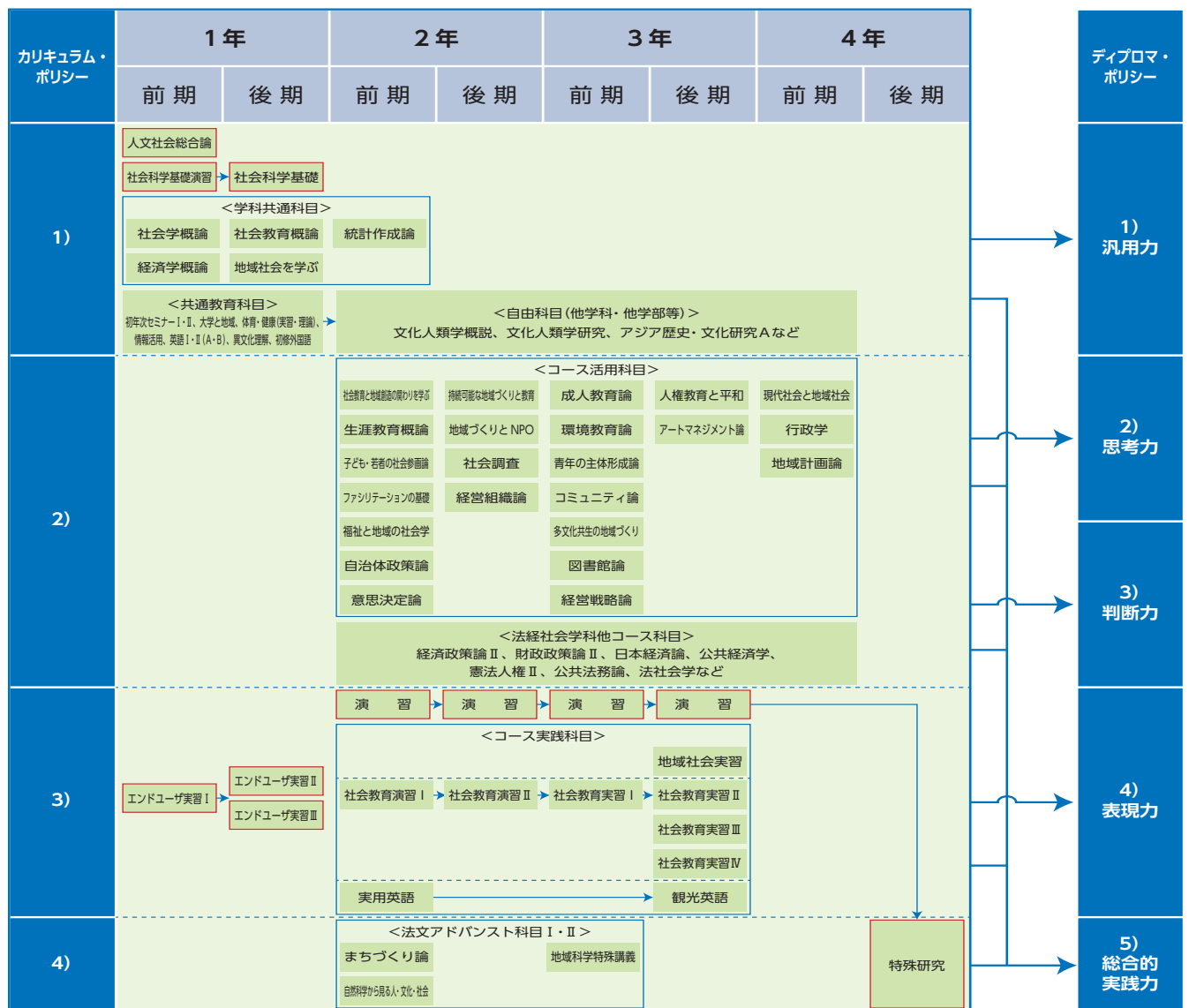
②

③

④

⑤

カリキュラム・マップ



コースカリキュラム・ポリシー

対応する
学部CP

- 1) 多元地域文化コースでは、日本を含む世界各地の文化・歴史・環境に関する知識・技能を基礎から応用へと段階的に学ぶとともに、そこで得た広く深い知識・技能を、社会に生かす実践力へと高めるため、「基礎」「活用」「実践」の三つの領域に区分して教育プログラムを構成します。
- 2) 1、2年次の「基礎」領域には、日本を含む世界各地の文化・歴史・環境を学ぶ上で必須とされる基礎的科目を配置し、基礎的な知識・技能を習得させるとともに、日本を含む世界各地の文化・歴史・環境を比較・理解するための論理的・科学的思考力を養成します。
- 3) 2、3年次の「活用」領域には、日本を含む世界各地の文化・歴史・環境とその関連領域に関する講義・演習・実習等の科目を配置し、高度な幅広い知識・技能を獲得するとともに、地域社会や国際社会における諸課題を適切に解決するための判断力・プレゼンテーション力・協調的コミュニケーション力の育成を図ります。また、複数のカリキュラムに基づく履修モデルを学生に提示することで、将来のキャリアを見据えた科目履修を促します。
- 4) 3、4年次の「実践」領域には、卒業論文を配置し、日本を含む世界各地の文化・歴史・環境に関する知識を適切に生かして地域社会や国際社会に貢献するための総合的・協働の実践力の完成を目指します。

①

②

③

④

コースディプロマ・ポリシー

対応する
学部DP

- 1) 人文科学の各学問分野を学ぶための総合的な見方と基礎的知識を備え、理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を習得している。
- 2) 南九州に特有の文化・歴史・環境に関する知識を踏まえ、日本を含む世界各地の文化・歴史・環境を比較・理解する論理的・科学的思考力を身につけている。
- 3) 日本を含む世界各地の多面的な文化・歴史・環境に関する知識を踏まえ、南九州における地域社会や国際社会における諸課題を適切に解決するための判断力を身につけている。
- 4) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境に関する包括的な知識を踏まえ、南九州を相対化しながら、自らの考えを明解に伝えるプレゼンテーション力と、多様な考えや視点を理解し、協調できるコミュニケーション力を身につけている。
- 5) 南九州の地域的特定及び日本を含む世界各地の多面的な文化・歴史・環境や高度な専門的職業につながる分野についての知識を習得し、現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力を備え、職場、国際社会および地域社会に積極的に貢献する「進取の精神」を身につけている。

①

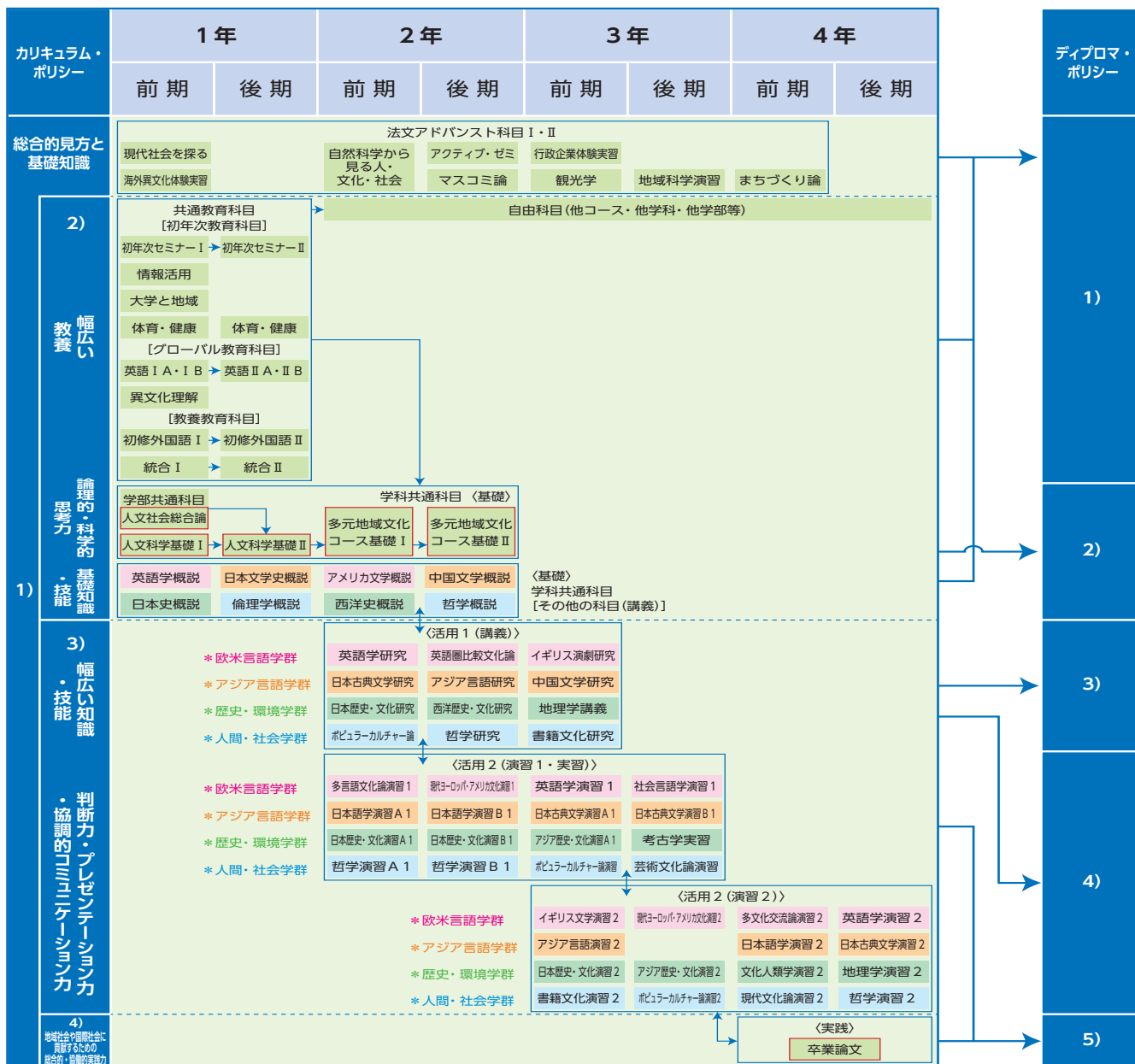
②

③

④

⑤

カリキュラム・マップ



コースカリキュラム・ポリシー

対応する
学部CP

- 1) 心理学コースでは、心理学の多様な専門領域の知識・技能を基礎から応用へと段階的に学ぶとともに、そこで得た広く深い知識・技能を、社会に生かす実践力まで高めるため、「基礎」「活用」「実践」の三つの領域に区分して教育プログラムを構成します。
- 2) 1、2年次の「基礎」領域には、心理学を学ぶ上で必須とされる基礎的科目を配置し、心理学の基礎知識・技能を習得させるとともに、論理的・科学的思考力を養成します。
- 3) 2、3年次の「活用」領域には、様々な心理学領域やその関連領域の講義や実験・実習科目を配置し、心理支援の現場で必要とされる幅広い知識・技能の獲得と判断力・コミュニケーション力の育成を図ります。また、地域の諸問題への心理的サポートなど、地域の「心の健康」を担う知識と技能を養う「コミュニティ心理支援」カリキュラムと、消費者心理に基づいた戦略立案、円滑な組織づくりなど、地域産業に貢献できる技能を養う「産業心理支援」カリキュラムの2つの履修モデルを学生に提示することで、将来のキャリアを見据えた科目履修を促します。
- 4) 3、4年次の「実践」領域には、実際の現場での活動を含む実習科目や卒業論文を配置し、心理学の知識を適切に生かすための実践的判断力と協調的コミュニケーション力の完成を目指します。

①

②

③

④

コースディプロマ・ポリシー

対応する
学部DP

- 1) 人文科学の各学問分野を学ぶための総合的な見方と基礎的知識を備え、理系を含む学問分野を横断した幅広い知識を習得している。
- 2) 人間の心と行動に関する論理的・科学的思考力を身につけている。
- 3) 心理学と関連諸領域の知識を踏まえ、地域における個人や集団の心理的諸課題を適切に解決するための判断力を身につけている。
- 4) 心理学と関連諸領域の知識を踏まえ、自らの考えを明解に伝えるプレゼンテーション力と、多様な考えや視点を理解し、協調できるコミュニケーション力を身につけている。
- 5) 南九州特有の心理的諸課題や高度な専門的職業につながる分野についての知識を習得し、現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力を備え、職場、地域社会および国際社会に積極的に貢献する「進取の精神」を身につけている。

①

②

③

④

⑤

カリキュラム・マップ

